

1998

12月号

DECEMBER
No. 340

花と緑と水のまち



広報

みまた

「みんなが主役」

10月25日に開かれた「第3回社会福祉大会」で、出演したりんどう保育園の園児。手話を交えた合唱は多くの人々に感動を与えた。



いきいきさん (28)

“遊ぶ心”を持つことは
大切です

三股町体育指導委員協議会

会長 太田 てる子さん

町民へのスポーツの振興のための助言・指導を行なう体育指導委員。現在、15名で構成する当協議会の会長として活躍しているのが東原にお住まいの太田てる子さん60です。

都城市の体育指導委員や国体の推進員を務めた経験のある太田さんを知っていた町教育委員会の職員の強い勧めで、昭和57年4月、女性初の指導委員として就任しました。「今考えますと、幼いころから体を動かすことが大好きだったので、うってつけだったのかもしれません。それから15年、委員一丸となって様々なスポーツを普及しました。ミニバレーボールやグラウンドゴルフは、その代表的なものと言えるでしょう」。

太田さんは、その他にも町レクリエーション協会会長、町バレーボール協会理事長、町女性アドバイザー「いきいき・ぎんなん・ネット」副会長、日本レクリエーション公認コーディネーターなど数々の役職に就かれています。

なかでも、副会長を務める「町子ども育成連絡協議会」への思い入れはひとしおです。当協議会では、町内の中・高生の代表者で組織するジュニアリーダークラブの育成・指導に積極的に取り組まれています。「クラブは、今から3年前に結成しました。活動としては、主に、町内で開催される子ども会の行事運営のお手伝いなどを行っています。また、独自の活動として、和太鼓の演奏活動を行なっています。これによって、部員は大きな自信と勇気を身に付けました。練習は、週1回程度、山之口町の和太鼓グループの全面的な協力によって、河川敷で行なっています。冬場は、寒風の吹きつける中、厳しい寒さを耐えながらの練習です」。

平成9年の町花火大会、練習の成果は見事に花開きました。一糸乱れぬバチさばきと打ち寄せる鼓動は、約三千人の観衆の心を一瞬のうちに飲み込みました。「演奏が終わった瞬間、感動のあまり涙が込み上げてきました。子どもたちの顔には、笑みが浮かび、うつすらと涙がこぼれているのを今でも忘れることはできません。子どもたちにとって、この自信は今につながっています。協調性を育て、自ら考え、行動する。三年前には想像もできないくらい大きく成長しました。今では、子どもたちから遊んでもらって、教えてもらっているような気持ちになりました。この子どもが大人になった時、自身が経験したことを子どもたちに教え、心豊かな人間に育ててくれることを願っています。1週間のうちで、自宅でゆっくり過ごせるのは日曜日の夜だけというバイタリティーあふれる太田さんですが、深いやさしさがそこにはあります。

茶じよけ

今年も残すところ後1カ月となりました。皆さんにとってこの1年はどんな年だったでしょうか。三股町のこの1年を振り返りますと、5月の町制施行50周年記念式典に始まり、名球会イベント、花火大会、社会福祉大会、ふるさとまつりなど、町の五十歳を祝う様々なイベントにわたったように思います。広報担当者として、それぞれのイベントに参加しましたが、その華やかな舞台の陰には、多くのスタッフの地道な活動がありました。イベントの成功に向けて、事前の計画の策定から準備、片付けまで、昼夜を問わず直向きに取り組む関係者の姿には、頭の下がる思いがいたしました。▼さて、来年はどんな年になるでしょうか。長引く経済不況、閉塞的な社会情勢ではありますが、夢だけ大きくもち続けて、前向きに取り組ましましょう。きつと明るい未来は訪れるはずです。

M・Y

三股町の人口

平成10年11月1日現在

男	11,324人	出生	24人
女	12,622人	死亡	16人
計	23,946人	転入	99人
前月比	+21人	転出	86人
世帯数	8,568戸(+10戸)		

元気な町を実感！

ふるさとまつり3万人でにぎわう

第8回三股町ふるさとまつりは、11月14日、15日の二日間、役場駐車場を主会場に開かれ、約三万人の見物客でにぎわいました。まつりは、町制施行50周年記念事業の一環として位置づけられ、町のさらなる飛躍と地場産業の発展を目指そうと、町、商工会、農協、Mの町龍雲塾、各種民主団体などで行く実行委員会が企画したものです。

迫力あふれた「人間早馬競争」

初日は、町内の保育園や幼稚園をはじめ20団体、約700人が参加したパレードで開幕。農協青年部のトラクターを先頭に、エーデルワイス幼児学園の園児による鼓笛隊が続き、その後に趣向を凝らした仮装姿の参加者らが、JR三股駅前から会場までの約八百メートルを練り歩きました。沿道には、黒山の人だかりができ、大きな歓声と拍手が起りました。

また、夕方から夜にかけて、夜鍋談義「Mの町ナイトショー」が開かれ、町婦人連絡協議会や0986会三股支部など4つの団体が腕によりをかけて作った鍋五百食、青年団による焼き鳥五百本が、家族連れや友人、グループなど詰めかけた参加者に無料でふるまわれました。また、Mの町龍雲塾が作った自ビールや実行委員会が用意した焼酎もふるまわれ、会場は楽しい雰囲気になっていました。

食会が行われ、早朝から引換券をもらおうと空き缶を手にした親子連れなど約千六百人で長蛇の列ができました。

午後からは、渥美二郎歌謡ショーが開催され、会場を埋め尽くした約四千人の観衆からは大きな拍手がわき起こり、祭の気分は最高潮に達しました。

引き続き行われた「人間早馬競争」には、町内外から力じまん24チームが参加。六人一組で男性は約百八十キロ、女性は約百二十キロの米俵を積んだ木製のそりを百メートル引張り、タイムを競いました。途中、靴が脱げたり転倒する選手などハプニングが続出し、コース沿いに詰めかけた観衆からは大きな笑い声や拍手が起りました。

まつりの最後には、お楽しみ抽選会が行われ、抽選に当たった方々は喜びにわきました。

2日目は、恒例の都城和牛大試

かわいらしい園児の鼓笛隊(パレードより)

会場と一体となった渥美二郎ショー

パーフェクトを目指して(だるま落とし大会)

メインステージを埋めつくした大観衆

園児たちの歓声に包まれたオープニング

「お楽しみ抽選会で一等賞に当たった山元奈々ちゃん。とてもうれしい」と一言。

林研コーナーでは子どもたちが木工品の制作にチャレンジ

夜鍋談義で楽しんでいます

「昨年は引換券をもらえなかったのので8時に会場に来ました」と語った原田成樹くん(4歳)(串焼大試食会)

劇団カップ座公演はたくさんの親子連れでにぎわった

まつりの
ハイライト

社会福祉大会に1000人

「生きがいのある社会づくりを宣言」

町は、10月25日、三股中学校体育館で、第3回社会福祉大会を開催しました。これは、子どもからお年寄りまで明るく健康で、安心して暮らせる町づくりを目指そうと、2年前から開催しているものです。大会には、町議会議員、小中学校の関係者、各種民主団体の代表、福祉関係者など来賓約二百人と、福祉に対する関心の高さを反映して約八百人の町民が詰めかけました。

功労者70名を表彰

町は、身体障害を乗り越え、自立更生に向けて励んでいる今市の下沖あさみさん(22)ら21名を社会福祉功労者として、さらに国民健康保険加入世帯で長年にわたって医療費給付を受けなかった30世帯を健康優良世帯として表彰しました。

また、町老人クラブ連合会は、役員として長年功労のあった7名と自宅で寝たきり者等の介護にあたった12名を表彰しました。社会福祉事業功労者として表彰を受けたらんどう保育園園長の赤池悦子さん(57)は「20余年あまり、当然の務めを果たしただけで、このように光栄な賞をいただいたことは身に余る喜びです。これから町の福祉発展のために微力ながらも役にあたりたい」と受賞者を代表して謝辞を述べました。

受賞者は次の方々(敬称略)

社会福祉民間奉仕者

(自立更生者)

下沖あさみ

(家庭介護功労者)

二宮チヌヨ・和田勝盛・新森ミ

ネ子・西山ヒロ子

(功労者)

宮田兼重

社会福祉事業功労者

(社会福祉法人または団体の役員で経歴十年以上)

久寿米木千久子・岩崎リク・小林キミエ・大村三千子・草留千枝子・野崎安雄・下石次男・大峰トシ・中原アキエ・松野次雄・河野政則

(社会福祉施設または団体業務に二十年以上従事する職員)

赤池悦子・徳田百合子・野崎勝代・下石由己子

国民健康保険健康優良世帯

原村輝美・水元辰己・中原義



社会福祉民間奉仕者(自立更生者)として表彰を受ける下沖あさみさん

福祉の重要性を実感

秋・田上信雄・下石明年・園田光春・黒木ヨリ子・永吉伍一・吉川正秋・小倉トキエ・山下ヨシ子・松山安美・下村典男・中原正一・山領ナル子・新原築・山田清子・松田伍夫・木田吉家・黒木フミエ・黒木満雄・福留フヂ子・別納キミエ・児玉トキ・山下真・下沖勉・田鍋カツ子・堀脇孝夫・梶原恒夫・中内ミエ子

町老人クラブ連合会長表彰

(永年役員、クラブ育成の部)

児玉羊子・木藤政光・持原尚文・児島クミ・茨木芳子・皿良政末・児玉鐵男

(ねたきり者等の介護の部)

本村重春・山本千代子・永井ハナエ・上石通雄・上村恵子・玉利ミチ子・川上静雄・井之上キミ



受賞者を代表して謝辞を述べる赤池悦子さん

子・佐澤ナミ子・指宿チヨ子・池田フサエ・西村サチ子

表彰の後、町内の小・中・高校の児童・生徒6名が身体障害者の立場になって考えたことや、日常生活で感じた様々な福祉問題、意見を発表しました。都城東高等学校3年の元明貴憲さん(17)は、「高校のボランティア活動を通して、福祉とは何かを学びました。これからは、障害者も健常者も共に手を携え、歩いていこうとする社会づくりが大切だと思います」と手話を交えて熱弁しました。参加者の多くは、子どもたちの素直な意見に熱心に聞き入っていました。

発表者は次の方(敬称略)

三股小5年 崎田 淳樹
三股小6年 堀内さやか
三股中1年 原田 基貴
三股中2年 塩田 尚美
三股中3年 今村 智佳
都城東高校3年 元明 貴憲

その後、町養護老人ホーム「清流園」指導員の児玉管一さんが大会宣言文を読みあげ、参加者全員が「生きがいのある真に心豊かな地域社会づくり」を誓いました。

宣言文の一部

一、すべての町民にとって、あたためのある福祉社会を実現するため、町民一人ひとりが、心のふれあう住民参加型の地域福祉の向上を積極的に推進します。

一、地域住民・行政機関・社会福祉協議会・各民間福祉団体等が互いに連携を密にし、多様化する福祉分野において、きめ細やかなサービス事業を展開するとともに、ボランティア活動推進の普及に努めます。

一、町民相互に支えあう社会福祉活動を推進するために、共同募金等への理解と協力に努めます。

にぎわったアトラクション

大会宣言の後、「生き生き、老後」という演題で、宮崎市在住の日本教育心理学会員、富永英雄氏の記念講演が開かれました。「充実した老後生活を送るためには、健康な体と、目的意識を持つことが何よりも大切です。普段から笑顔を保ち、やさしい言葉を掛けるように心がけましょう」と訴えました。

その後のアトラクションでは、町内二つの保育園の園児が楽器の



アトラクションで郷土芸能を披露したひまわり保育園の園児

文化の日

白井さん、堀内さんを表彰

町は、平成10年度町表彰式を11月3日、役場大会議室で開き、国立都城工業高等学校4年の白井真美さん(18)(東京在住)と堀内智美さん(18)(梶山在住)を表彰しました。式は、各分野で本町の発展に貢献した人や町民の模範となる善行をした人を顕彰するために、毎年「文化の日」に行なっているものです。式には、町三役をはじめ、県議会議員や町議会議員、教育委員、自治公民館長、各種民主団体の長など約百名が出席し、受賞を祝福しました。お二人の功績を紹介します。



前列左から2番目が白井さん、3番目が堀内さん

功労賞(体育部門)

「全日本高専バドミントン」

競技大会で優勝

白井 真美さん
堀内 智美さん

三股中学校在学時からバドミントン競技を始め、国立都城工業高等学校専門学校に入学すると同時に同校バドミントン部に入部。以来、同競技個人戦でペアを組み、各種大会で優秀な成績を収める。今年8月8日・9日の2日間に行なわれて開かれた「第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会」では、女子ダブルスの部に出場し優勝。さらに、堀内さんはシングルの部においても優勝を果たした。お二人の活躍は、同校の後輩はもちろん、本町のバドミントン愛好者にも大きな夢や希望を与え、本町の体育の振興に大きく寄与した。



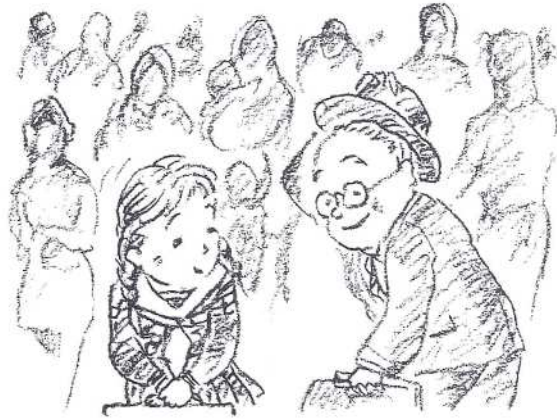
表彰状を受け取る堀内さん



謝辞を述べる白井さん

「人権はいつも身のまわりにある」

12月 世界人権宣言五十周年・人権擁護委員制度五十周年記念月間



「人権」という言葉から、あなたは何を思い浮かべますか。難しい問題、わたしとは関係のない一部の人の問題……果たしてそうでしょうか。人権は、一人一人に平等に与えられた生きるための自然の権利です。特別なところではなく、自分の身のまわりはもちろんです。人がいるところどこにでも人権があります。肩に力を入れないで、呼吸するように、どんな差別や偏見にも自然に反応できる、そんな人権意識を身につけたいものです。

ちょっとした日常の出来事にも自然に反応できる人権意識をもとう

最近、新聞やテレビなどで、人権問題、あるいは人権侵害という言葉をよく見聞きするようになりまし。総理府の世論調査(平成九年)でも、「ここ数年の間で人権が侵害されるようなことが多くなってきた」と答えた人は、全体の約四〇%に上ります。五年前の同様の調査に比べ、一〇ポイントほど増えています。

相手の存在を認める

毎日の生活のなかで、わたしたちがつい、言葉や態度で人を傷つけてしまうことがあります。例えば街で、急いでいるからといって、人を突き飛ばしたり人の間に割り込んだり……これでは、邪魔な草や木を押し退けると同じで、人を人として扱っていないことになりまし。悪いこととは分かっている、なかなか改められないこ

ともあります。しかし、そうした行為をしてしまったときに、素早く気づき、ひと言かけることができたなら——こうしたごく当たり前のことが、相手の存在や意思を認める、つまり人権を尊重することにつながります。

肩ひじはらない人権意識

わたしたちの社会にはまだ、相手の存在を無視した、さまざまな人権問題があります。部落差別や外国人差別、性別による差別や子どもの人権にかかわる問題、お年寄りや障害者に対する偏見などです。こうした問題をなくすためにも、まずは身のまわりの人権に気づくことから始めてみませんか。だれに言われなくとも心と体が自然に反応する、肩ひじはらない人権意識が、今求められています。

「世界人権宣言」とは

多くの権利について

すべての人民とすべての国が達成すべき共通の基準

第二次世界大戦は、多くの人命を奪う不幸な出来事でした。この悲劇を二度と繰り返すことなく、世界中の誰もが幸せに生活できる国際社会をつくりたいという決意のもとに、1948(昭和23)年12月10日、国際連合(国連)の第3回総会で採択されたのが「世界人権宣言」です。世界人権宣言は、初めて人権の国際的な保障をうたった画期的なもので、前文と30の条文からなっています。

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精

神をもって行動しなければならない。」——この第1条をはじめ、世界人権宣言は、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」(前文)として、市民的、政治的、経済的、文化的分野にわたる多くの権利に触れています。

世界人権宣言が採択されてから50年後の今、世界やわが国には、まだまだ解決されなければならない人権問題が数多くあります。世界人権宣言に記されたすべての権利が実現できるよう、わたしたち一人一人が取り組んでいかなくてはなりません。

50th



ハ〜イ! カステンブラウンです

ドイツで、ゴミ問題はどうですか

『昔々、おじいさんとおばあさんが田んぼの裏に住んでいました。その生活は(今と比べると)気楽なものでした』というのも、ゴミをすべて燃やしていたからです。例えば、森や林の竹や木材、新聞、畳、服、家庭ゴミ等、すべてのものでした。

そのころ、須佐之男(すさのおのみこと)という神様が天からよく下りてきました。ちょっと無頓着な神様ですから、よくお土産をプラスチックの容器に入れて、おじいさんとおばあさんに差し上げました。

「天国製の食べ物が入っているので、おいしいに違いない。すぐにいただきます」とおばあさんが言い、2人で食べました。そして、食べ終えた後、その容器を燃やしていました。すると、低い温度でプラスチックやビニールを燃やすので、ダイオキシンという悪魔が発生して、田んぼに流れていってしまいました。それから1年後、おじいさんもおばあさんも死んでしまいました。

残念ながら、その物語は、現代にも当てはまることです。昔と比べると、瓶等の製品は今の方が化学的な原料で作られていますので、あなたの庭でプラスチックやビニールを燃やすことは、ダイオキシン等の有害な物質を生み、あなたの家族を危険にさせてしまいます。

これは、国際交流員である私の意見だけではなく、周知の事実です。

ドイツではどうですか? 私の祖父の時代は、前述の物語のようでした。しかし、最近、自分でゴミを燃やすことを禁止する法律が作られました。ドイツの方が日本より広いですから、たくさんのごみが当たり前のように捨て場に捨てられていました。しかし、その方法はすごくコストがかかるため、そろそろとゴミ焼却が増えてきました。しかし、それにかかるコストも高くつくために、ヨーロッパの欧州連盟の国々を含め、ドイツでもとても厳しいリサイクル制度政令が出てきました。

〔ドイツのリサイクル率〕		〔日本のリサイクル率〕	
紙・ボール箱	94%	古紙	53%
スチール	81%	スチール	74%
ガラス	85%	アルミ	66%
プラスチック	68%		
アルミ	81%		
組み合わせ料 (合成・ミックス料等)	79%		
(原文: ドイツ国会第13号被選機関13/10735印刷文書、119ページ Bundestagsdrucksache13/10735, 1998, S.119)		(平成7年資料) 参照: 日本環境協会資料	

ドイツで今、二つのエコ・マークが使われています。行政指導で私立されたリサイクル制度に参加する会社は『グリーンポイント』マーク(デア グリュネ プンクト)です(第1絵)。

ドイツ環境省(ウムヴェルトミニステリウム)の環境保護庁(ウムヴェルトアムト)は、『青色の天使』(『デア ブラウエ エンゲル、第2絵』)というマークを管理します。昔と比べると、今、最も環境にやさしい生産方法を使う企業のロゴ・マークです。

しかし、ドイツ人ももっと頑張らなければならないと思います。

(第1絵)



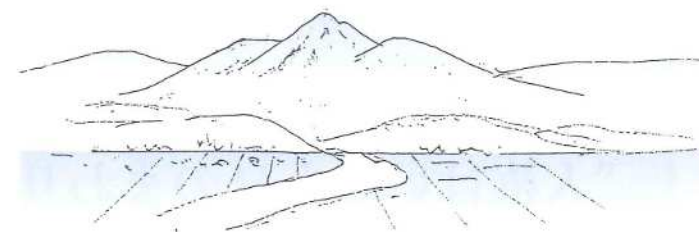
回収・リサイクルが法律で義務づけられた製品につけられる“グリーンポイント”マーク。

(第2絵)



14/9582

ふるさとへの便り



幼いころの思い出

山元 習 (63) (上新出身)

郷里三股町を離れて、すでに40年が経過いたしました。

昭和17年、国民学校に入学したころ、私は小柄だったため、ランドセルがとて大きく感じました。当時の世相は、白米標準(10kg)3円35銭、牛乳1本10銭、豆腐1丁7銭、こういう時代でした。

私は、子どものころからスポーツが大好きでした。この年のプロ野球の優勝は、私の大好きな巨人軍(ジャイアンツ)、大相撲の優勝者は、1月、5月、ともに大横綱双葉山だったそうです。このことは、あくまでも本で知ったことですが……。

記憶に薄いのですが、小学校3年のとき、上新馬場に分散学校(掘っ建て小屋)で勉強を教えてもらいました。教室は窓ガラスが無く、雨風のときは大変でした。その時の先生の名前は、残念ながら思い出すことができません。大変ご苦労だったと思います。今、お会いしたい気持ちでいっぱいです。



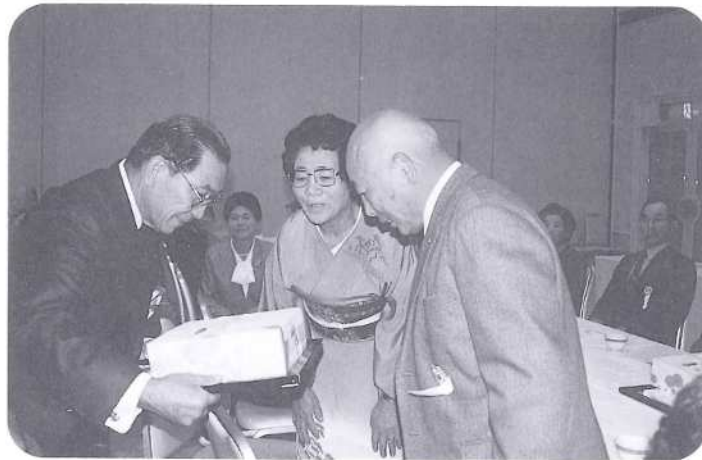
写真左より私、孫、妻です

小学校6年の秋、三股町文化祭運動会で、本校(三股小)、分校(勝岡、梶山、宮村)の対抗リレー大会が開催されました。各校4名が選手に選ばれ、私もその一人でした。結果は、梶山小学校が1等で、本校は残念ながら2等でした。この思い出は、いまだに頭の奥まで染み込んでおります。小学校を卒業して、希望を新たに三股中学校に入学。当時、校舎が新設されましたが、今思いますが、予算、人手不足のため、生徒

全員そろって校舎造りに汗を流して頑張りました。基礎造りのために、スコップ、山鉤、二輪車、リヤカーなどいろいろな作業工具を使って土などを運搬しました。月日のたつのは早いもので、あれからすでに50年あまりが過ぎ去ったのです。平成10年4月、三股中学校創立50周年記念誌をいただき、誠にありがとうございます。掲載されている中学校の写真を拝見いたしますと、当時の面影は、まったく無く、きれいに区画された中に、立派な校舎が建ち並び、グラウンドも整備され、とても驚きました。ページをめくっていくうちに、中

学時代の思い出が脳裏に浮かび、懐かし、胸が熱くなりました。毎年、有志代表の皆様の企画で実施している在京三股会は、すでに15回を数え、去る10月31日、東京新宿、東京都庁ビルディングの隣り、新宿モノリスビル29階において開催されました。その折には、ご多忙にもかかわらず、町長をはじめ町議会からもご出席賜り、誠にありがとうございました。皆様と一緒にテーブルを囲んで昔話に花が咲き、楽しい1日を過ごすことができました。会の最後には、三股中学校の校歌、故郷を合唱しました。その時、故郷三股で、18年間、たくましく力強く生きることの大切さを、身につけてもらったことが走馬灯のように過ぎ去りました。今は亡き父母も大変喜んでいてくれることと信じています。

三股町のこれからのなお一層のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



手をたずさえて50年 金婚60組を祝う！

昭和23年に結婚し、今年で50周年を迎えたご夫婦を祝おうと、町社会福祉協議会(会長 三股町長 桑畑和男)は、11月5日、都城市内のホテルで「第13回金婚式」を開きました。招待されたのは、山王原の赤池久夫さん(81)、シヅさん(75)夫妻ら53組。桑畑会長は挨拶の中で、「苦難の時代を夫婦手を携えて乗り越えてこられたと思います。これからも、夫婦仲良く、いつまでも長生きしてください」と述べました。その後、出席した夫婦にそれぞれ賞状と記念品が贈られ、祝舞や歌謡ショーなどのアトラクションが繰り広げられる中、盛大に懇親会が行われました。赤池さんは「たくさんの方々の温かい支えがあって金婚式を迎えることができました。とても感謝しています」と話されました。

自動車の点検をアピール

自動車整備工場などで組織する県自動車整備振興会の都城支部三股ブロック会(加盟14工場)は、11月12日、東原の県道沿いの空き地で、自動車の無料点検を行いました。これは、本町が11月の間、交通安全運動「都城盆地6・6作戦」の重点町であったことから、当ブロック会が事故のない町を目指そうと初めて行なったものです。午前10時から約1時間、警察官によって誘導された自動車のタイヤ、ライト、排ガスの状態など工具を使って点検しました。中には、整備を必要とする車両もあり、運転者に詳しく説明する場面も見られました。会員の河野勝雄さんは、「車両法の改正に伴い、自動車を所有する方への自己管理責任が重くなりました。事故を無くすためにも定期的な検査は必要です」と話しました。



ふれあい標語14名を表彰

町教育委員会は、11月3日、「親と子のふれあい標語」の優良作品の表彰式を「子どもの声を聞く会」にあわせて行いました。標語の募集は、健全で明るい家庭づくりのために、平成6年から毎年行なっているものです。今年は、応募多数の中から、小学校の部、高校生の部、一般の部に分けられ厳選された結果、14点が優良作品に選ばれ、それぞれに賞状と図書券が贈られました。



親と子のふれあい標語優良作品

小学生の部	おかあさん あのね	三股西小学校 1年 中 神 史 織
	お母さん 作ったおにぎり あったかいな	三股西小学校 2年 新 原 千栄子
	晩ごはん 家族そろって 今日のできごと	宮村小学校 3年 国 分 美 希
	親と子の 楽しい会話 にこにこと	三股小学校 4年 飯 野 まどか
	すてきな 家族笑顔が なによりも	梶山小学校 5年 鍋 倉 加菜美
中学生の部	家族で夕食 楽しいだらん 心も体もほっかほか	勝岡小学校 6年 野 崎 友莉恵
	「ありがとう」 小さな言葉が 大きな勇気に	三股中学校 1年 時 任 り え
	食卓を 包む家族の 笑い声	三股中学校 2年 吉 留 和 洋
一般の部	子の心 理解するのが 親心	三股中学校 3年 栗 山 三 代
	親子の会話 はずむ団らん 幸せ家族	三股町宮村 黒 木 倫 子
	共汗で 思いやりの心を育てる わが家族	三股町蓼池 堂 村 美津子
	わかり合う 家族の秘訣 コミュニケーション	三股町花見原 宮 路 正 一
	「あのね」「なあに」親子をつなぐ 合言葉	三股町樺山 甲 斐 智 美
	「おかえり」で 子どもの笑顔そろって 100ワット	三股町蓼池 細山田 美 貴



町子ども育成連協、県表彰を受賞

町内35の子ども会で作る「町子ども会育成連絡協議会」(会長 森正二郎)は、10月25日、西都市文化ホールで開かれた「第26回宮崎県子ども会育成大会」で、平成10年度県子ども会育成連絡協議会表彰を受賞しました。当協議会は、町内各地区の子ども会をもって昭和46年に結成。以来、さわやかスポーツ祭の参加や高齢者施設を訪問してのレクリエーション、公園や河川などの清掃作業など様々な活動を展開しています。また、3年前には、中・高生の代表者で、ジュニアリーダーを結成。和太鼓を取り入れ、町内の各種イベントで披露するほか、地域の子どもの会の活動の応援や指導に当たっています。

別納さんら優等賞に輝く

—第50回宮崎県畜産共進会—

家畜畜産物の資質の向上と、畜産振興を目的に毎年開催されている県畜産共進会は、10月22日から11月1日まで県内二つの会場で開催され、本町からは、宮村の園田鎮也さん(肉用種牛の部)ら9名が出品しました。今回は、50回という記念する共進会で、主会場となった県農業科学公園では、「畜産ふれあいフェスタ」と称して、各種イベントが開催され、搾乳をする体験コーナーなど家族連れでにぎわいました。審査の結果、肉牛枝肉の部で田上の別納軍一さん出品の二郎号が優等の7席、梶山の長倉文翁さん出品の利号が9席に選ばれるなど、好成績を納めました。(写真は肉牛枝肉の展示会場)



日本最南端、最も遅いやまめの採卵

溪流の女王、幻の魚として珍重されるヤマメの養殖を行なっている長田大八重の「池辺ヤマメ養殖場」で、10月下旬から11月中旬にかけて採卵の作業が行なわれました。日本最南端、国内で最も遅いもので、約300万粒を採取し、九州一円に受精した発眼卵や稚魚、幼魚を出荷します。採卵は、産卵に適している状態であるかを、魚の腹を触って判断するもので、高度な技術を要するといえます。採取した直径約5ミリの黄白色の卵は、受精後、約1ヵ月でふ化し、来年5月ごろには70gの成魚に成長します。同養殖場の2代目、池辺美紀さん(30)は、「鰐塚山系から流れる水量は、自然林の伐採などの影響によって年々減ってきています。ヤマメは、夏場でも水温が20度を超えない場所ではしか成育できないので、河川の水を利用した養殖業の将来が心配です」と話されました。

むかしの結婚式を演出

町文化協会(会長 山元六男 70団体 会員約1,000名)は、11月1日、町体育館で「第12回文化芸術発表会」を開き、詩吟、舞踊、歌謡、三味線、民謡、和太鼓など19団体、約200名の会員が日ごろ練習した成果を披露しました。会場は、約500名の観衆でふくれ上がり、舞踊や演奏が終わるたびに大きな拍手がわき起こっていました。中でも、三股吟友会は、昔の結婚式の模様を舞台で再現。紋付き袴と襦袢(うちかけ)を装った出水和樹さん・真弓さん夫妻を招待し、二人を祝しました。長持歌の流れの中幕が開き、「四海波」の吟で三三九度の杯が酌み交わされ、「結婚祝いの歌」の歌に合わせて詩を筆で書く「書道吟」が披露。会場は蘭々とした雰囲気包まれていました。



日本2週の旅紀行

(その5)

日本2周ボランティアの旅も前半は、東北・北海道と回ること100日になった。家を空けること3カ月はちよつと長すぎた。『親がいる、孫がいる、家族がいる』、だから遠い北海道を早く済ませたのだが。一カ月ぐらゐで家に帰り、次の訪問先の準備をしないと、旅先での準備は苦勞する。訪問する施設が決定していないと、一日空くので旅先で立ち往生だ。親戚は無し、友人はいないし、見学もそう行く所は無し、だからと言って次の県へ移動することもできない。

施設の電話を借りて交渉する。「後から返事します」と言われたら、もうその施設にはいないわけですから、事務所の電話をいつまでも借りて話すこともできない。とにかく自宅で訪問する日程と訪問先施設を確定して出発しないと困るわけだ。しかし、相手様が私の個人ボランティアのため、そう簡単に施設を見つけてくれない、出発するまでは頭の痛い毎日が続く。

一カ月ぐらゐで行ったり帰ったりすると、これがまた大変だ。今回は富山県までの三日間が1300km、奈良県から帰りの二日間が930km、車に乗りっぱなしで腰の痛みが取れない日が続く。

さて、旅行の続きを書こう。石川県は輪島市の朝市が有名だ。七尾市には日本一でか山の館がある。能登半島宝来町に、世界一長いベンチ(椅子)460mがあり、魚のいない水族館は面白かった。能登島大橋が7月1日より無料になり、『のじま水族館』も見学できる。金沢兼六園は観光客がよく行く所、江戸時代の代表的大庭園が特徴。那谷寺は前回も行ったが、四季折々の風情はつきることがない。加賀市は百万石の城下町、加賀時代村には、江戸時代から薫る街並に色々な展示館があるがお金がかかる。

次に福井県は永平寺、お寺が大きく時間が必要。750年前、道元禪師によって開創された出家参禅道場、大小70余棟の殿堂校閣あり。越前竹人形の里と越前岬・東尋坊は訪ねて見るのもよい。滋賀県は琵琶湖が真ん中にある。伊賀の里は忍者屋敷、元禄年間建築された古家でも観光になる。彦根城は、築城以来四世紀の時を経て今も変わらぬ姿を残しているが階段が多く疲れる。比叡山延暦寺は見学の時間がかかる。東塔から西塔。横川中堂と見学すると有料道路だけで、2、320円。旅紀行も、百聞は一見に如かずと



10月1日・2日
岐阜市十六銀行前で街頭募金活動

富山県では「つかえんわ」は大丈夫のことだそう。名古屋で「せつとかめ」は、「久しぶりです」のこと。日本中を回ると言葉の面白いに出会う。

長野県で茅葺家を写生して回っている人に出会った。話しているうちに、新潟県に天山水山があると聞いた。熊本県に天山水山があることは知っていたが、ビックリして地図で調べた。長野県との県境に、天山水山があり天水越・天水島などもある。一度行って登ってみたいものだ。

天水 藤平
美津子



魚のいない水族館
アクアリウムで魚を見る

みんなの広場

保育園訪問⑧

子どもと共に育つ
まことの保育を目指しています

★子どもにやさしい

地域環境づくりを求めて

今日も元気で陽気な子どもたちが、園庭を所狭しと走り回り、遊具に興じ、先生方と楽しく遊んでいます。

外遊び大好き、お散歩大好きな子どもたちです。

本園は、広済寺の経営する園で、昭和33年に町内初の保育園として発足しました。以来、地域に開かれた

中央保育園

園を母として、保護者等への育児講座や老人福祉施設訪問、夕涼み会、おやつ調理講習会、風作りなど地域活動事業に積極的に取り組んでいます。特に、祖父母を交えての交流会では、誕生会に招待して、好評を得ました。世代を越えてのお付き合いは、会を重ねるごとにさらに深まっていくことでしょう。

また、本園の特色の一つに、モンテッソーリ教育を導入しています。知的段階に応じた遊具を使い、感覚教育、言語教育、算数教育、文化教育と幅広いジャンルを系統的に学ぶもので、保育は、温かい笑顔、やさしい語りかけで、長所を褒めながら、温もりのある保育を心掛けています。

本園は、だれもがいつでも足を運べるみんなの園です。子育て、育児相談等も受け付けていますので、お気軽にお越しください。今回は、下新の「みどり保育園」です。お楽しみに!!

★わが家の一番星★



福田 優雅くん(6カ月)

平成10年5月16日生まれ
福田雅仁・綾さんの長男

(子供へのコメント)
いつも、ニコニコみんなに愛嬌をふりまく優雅くん。これからも、笑顔を絶やさずにたくさんの人にかわいがられて大きくなってね。



内村 晴香ちゃん(1歳)

平成9年5月20日生まれ
内村孝志・ひとみさんの長女

(子供へのコメント)
いつも元気な晴ちゃん! その明るさをいつまでも保ってみんなを明るくして下さい!

お便りやイラスト、お子様の写真を募集
「みんなの広場」では、皆さまからの便りを募集いたしております。
●町の声コーナー
ふだんの生活で感じたことや皆さんへのお願ひ事などを四百字以内にお書きの上、お送りください。

●イラストコーナー
アニメのヒロインなどをかきにお書きの上、お送りください。
●わが家の一番星コーナー
2歳未満のお子様の写真とコメントを添えて直接役場にお申し込みください。
■問い合わせ 役場総務課秘書広報係
☎52-11111 (内)222

子どもたちの考えは「いま」

夢や希望を8名が発表



発表した8人の児童・生徒

町、町教育委員会及び町青少年育成町民会議は、11月3日、町表彰式に引き続いて、役場大会議室で「子どもの声を聞く会」を開きました。これは、子どもの描く人間像や将来についての意見、家庭生活・学校生活・友人関係、郷土について、日ごろ考えていることを発表してもらい、今後の青少年の育成に生かしていこうというものです。今年は、町内の各小中学校の児童代表6名と中学校の生徒代表2名が元気よく発表しました。会場には、町内の民主団体の代表や小・中学校長、PTA役員など約百五十名が出席し、真剣に聞き入っていました。今月号から3回にわたって、発表した作文を紹介していきます。

すてきな友達



梶山小学校6年 溝口 裕都さん

「こんにちは」
わたしと谷口さんの出会いは何気ないあいさつから始まりました。中には、さびしくて、生きていけないと思う人もいるかもしれません。

「いつも今ごろ、この辺を歩いているよね。」
「ちょっと、声かけてみようか。」
わたしと友達はおそろおそろ声をかけてみました。この時はまだ、この人がわたし達にとって大切な人になるとは全然予想もつかなかったのです。

「こんにちは」
わたし達は勇気を出して声をかけてみました。
「こんにちは」
意外にもそのおじさんはにっこりとほえんであいさつを返した。

てくれたのです。それからしばらく話をしているうち名前が谷口さんと分かりました。そして、心ぞうの具合は悪いけど毎日がんばって歩き、心ぞうを強くしていることを知りました。わたし達は「すごい人だなあ」という気持ちで聞いていました。何日か話しているうちに最初の頃のきこえない会話がだんだん楽しいものになっていきました。

ある日、わたしたちの持久走大会があることを伝えると、谷口さんは、
「がんばってね」
とやさしく言ってくれました。大会の日がやってきて（苦しいな。つらいな）と思いながら走っているわたしの視界に谷口さんの姿が見えました。
「がんばれ、がんばれ」
谷口さんはせいっぱい声を出して応援してくれたのです。その応援にこたえるかのようにいっしょうけん命走ったことは言うまでもありません。
気がつくと、谷口さんは、わたしの大切な大切な友達の一になっっていたのです。それから、毎年年賀状をおくるようになりました。返事をくれるかわりに
「年賀状とどいたよ。ありがとう」
とその年に初めて会った時にお

礼を言うてくださるのです。谷口さんの、にっこりと笑ってくれる顔が私にとってはなによりうれしい年賀状でした。

また谷口さんは、たくさん私を教えてくれます。戦争のできごと、病気を患うことの苦しさ、そして命の大切さを教えてくれたのも谷口さんでした。

わたし達は谷口さんの話を聞いていて、たいくつしたことはありません。時にはあめ玉をもらったり、ウォークマンをかりて頂いたりして、一緒に帰るのです。だからわたしにとって下校する時が一番楽しい時間になっています。

谷口さんとの出会いからもう三年もたつてしまいましたが、わたし達は今でも仲の良い友達です。今では車いすでの生活をしてらっしゃる谷口さんですが、とても元気です。わたしは、大人になっても谷口さんのことを忘れることはないと思います。谷口さんは、わたし達に人に対するやさしさや、おとし寄りとのふれあいの大切さ、そして友達を作る時の勇気を教えてくれたのですから。
私は、これから大人になっていく中でたくさん友達を作っていくでしょう。どんな時も谷口さんの教えてくださったことを大切にしたいです。
友達を作るのに年齢なんて関係ありません。ただ、そつとやさしい手を差し出せばいいのです。ちよつとした勇気を出せばいいのです。
わたしのすてきな友達について話してきましたが、最後に谷口さんにもお礼を言いたいと思います。
『友達を作る勇気、そしてたくさんのかさしさを教えてくださってありがとうございます。またいつか谷口さんにももらったこの勇気決して忘れません。またいつもの笑顔で、たくさんのお話しをしましょうね。』

私のやってみたいこと



宮村小学校6年 馬渡 真美さん

私が、将来やってみたいことは、ボランティアで、大きく分けて二つあります。

その一つは、自然災害で困っている所があったらそこへ行って手伝いをする事です。でも、人を助けるだけでなく、人の心をなぐさめ強くなりたいです。そのわけは、次のようなことです。
阪神大震災などの被害者の中

には、家族がなくなつてしまいい、すこ元気のない人がいます。中には、さびしくて、生きていけないと思う人もいるかもしれません。

わたしは、寝る前に、家族が死んだらどうしようと思う時があります。その死が土砂くずれや地震だつたらと思うと涙が出ます。私は気が遠くなつてさびしくなり、どこか知らない所へ行くだろうと想像するからです。

た。さんごしよの海、それに赤松や南国の花、他にも緑がいっぱいありました。私は、こういう緑がいっぱいの町がいいなあと思いました。緑があれば、いい空気がいっぱい吸えるからです。そして、病気がなくなると思つたからです。緑は人の心を優しくすると思います。

同じ頃、私の住んでいる地区では「寺柱元氣塾」という名前で行くいろいろな活動が始まりました。

ホテルを増やすために、川でえさのカワニナを探したり、学校の木の名前を調べたりしました。私の身の回りにも、自然がたくさんあることが分かりました。これからも、「元氣塾」の活動に積極的に参加していこうと思います。

もちろん、三股町にも自然がいっぱいあります。「花と緑と水のまち」と言われるように、つづじヶ丘や長田峠はその代表だと思っています。いつまでも大切にしたいと思っています。

だから、私は自然を守るために、木が切られたら植えた



元気に発表する児童

図書室 だより No.127 BOOK

講演会のお知らせ

■日 時 12月19日(土) 午後1時30分～
■場 所 三股町中央公民館 2階 第一研修室
■講 師 木城町えぼんの郷
事務局長 森一代先生
■演 題 絵本のたのしさ
※入場無料! 託児できます。

12月の休館日

1日、2日、7日、8日、14日、15日、20日、22日、23日、28～31日、
※1月は、6日まで休館します。

漢 字 ク イ ズ

次の()の中にはすべて漢数字が入ります。それぞれどんな数字が入るでしょう。

- ①() 転八倒・転げ回って苦しむこと。
- ②心機() 転・気持ちを入れ替えて出直すこと。
- ③() 百屋・やさいなどを売っている商店。
- ④() 足・細長くて足がたくさんある虫。
- ⑤() 里霧中・(深い霧の中で方向がわからなくなることから) 迷って、どうしたらよいかわからないこと。

答えを官製はがきにご記入のうえ、下記までお送りください。なお、住所・氏名・電話番号もお忘れなくお書き添えください。当選者の中から抽選で5名の方に図書券を進呈いたします。

(宛先) 〒889-1902

三股町五本松8-1

三股町中央公民館図書室

※締切りは、12月26日到着分までとさせていただきます。

10月号の答え

- ①独活(うど) ②生姜(しょうが) ③葱(ねぎ)
④茄子(なす) ⑤山葵(わさび)

☆11月1日到着分まで締め切らせていただきました。

図書券の当選者は次の方々です。

山元直顕様、井ノ上マサ子様、永盛桃子様、
井手上明美様、永盛チエ子様

66通のご応募をいただきました。ありがとうございました。

図書室にいただいたお便り

・こんにちは、初めてこの漢字クイズに応募しました。

7月号も応募しようかなと思ったのですが、難しくあきらめました。恥ずかしいのですが一問しか解りませんでした。このような漢字クイズ、大いに勉強になります。今からもしどしどし参加します。お花の名前は難しいですね。(稗田 T. K様)
・新しい図書館ができるのを楽しみに待っています。(樺山 S. N様)
・よい勉強になります。(東原 I. M様)
・図書券ください。そしたら本を買います。(花見原 S. D様)
ご意見ありがとうございました。採用させていただいた方には粗品を送らせていただきました。

おすすめの1冊

～ぜひ1度読んでみては～



【一般向】

ゲルマニウムの夜

花村 萬月

人を殺し、育った修道院兼救護院に舞戻った青年・龍。修道女を犯し、暴力の衝動に身を任せ、冒瀆と倫理のはざまで揺れる日々。目指すは、僕の王国―世紀末の虚無の中、「神の子」は暴走する。第119回芥川賞受賞作。



【児童向】

まじょと101びきのようかい

藤 真知子

モンスター王子のお城にいるのは101びきの妖怪たち。ベッドに、お皿に、花だって、みんな妖怪なんだから。でも、へっちゃらよ。だってまほうがとけたらね、きっと素敵なおとぎのお城。まじょシリーズ最新作品



中村 房子さん

今回は、泉ヶ丘高校の図書室にお勤めの中村房子さん(38) (新馬場在住)を訪ねました。

『私と図書館』

No15

Q 図書室ではどのような仕事をなさっていますか。
A 選書や装幀、分類、貸出業務などをおこなっています。
Q 若い人の活字離れがよく話題になりますが、利用者は多いですか。
A はい。今は、大学入試も小論文を課す大学が多くなり、本を読んで文章を書く力をつけることがとても大切です。国語の先生の指導もありよく利用してくれそうです。泉ヶ丘高校は、県内の高校のなかでも読書にとっても熱心で貸出冊数が宮崎県で1位になったことが何度もあります。図書委員が県立図書館に見学に行ったりと、大変活発に活動しています。
Q 貸出冊数が県内の高校で1位ということですがどのくらいあるのですか。
A 泉ヶ丘の生徒さんは、皆さんとても素直で、楽しく仕事をさせていただいています。ただ本の返却が遅れたり、返さないままの人もいますので、期限を守って下さるといいですね。

Q 1年間に約12、000冊くらいです。蔵書は約33、000冊、雑誌が19種、新聞が4紙あります。
Q どのような本がよく読まれますか。
A サスペンスやミステリー、ホラー小説、恋愛ものがよく読まれます。3年生は、入試の勉強で使う小論文の書き方の本などを借りていくようです。男子生徒は、科学や歴史ものが多いようです。特に人気があるのは、ダニエル・キイス著の「24人のピリー・ミリガン」や「ピリー・ミリガンと23の棺」、瀬戸内寂聴氏の「源氏物語」です。好きな作家では、シドニー・シエルダン、吉本ばなな、堀田あけみ、村山由佳などが挙げられます。男子生徒より女子生徒の利用が多いですね。
Q 中村さんは、どんな本がお好きですか。
A 小説や心理学、哲学の本が好きです。以前評判になった「ソフィーの世界」も読みました。
Q 最後に学校の生徒さんに何かないでしょうか。
A 泉ヶ丘の生徒さんは、皆さんとても素直で、楽しく仕事をさせていただいています。ただ本の返却が遅れたり、返さないままの人もいますので、期限を守って下さるといいですね。

シリーズ 健康管理 ⑬

一虚血性心臓病一

(その4)



三股町国民健康保険病院

内科医

油屋 真仁

前回までに、虚血性心臓病の時代背景、病態、検査について触れてきました。今回は、治療と予防に触れて虚血性心臓病のシリーズの最後とします。

では、治療の概説からです。治療の原則は、薬の内服と血行再建になります。血行再建とは細くなったたり、詰まったりしている冠状動脈を血液が流れやすいようにする方法で、内科的な風船療法と外科的なバイパス手術があります。薬には血管拡張剤、血小板凝集抑制剤などを使用します。これらの内服薬の使用でも症状が治らない場合には血行再建を考慮することになります。内科的血行再建法には風船療法というのがあります。前回、心臓カテーテル検査について書きましたが、風船療法も方法はほとんど同じです。細かったり詰まったりしている冠状動脈を風船で力づくで広げるのです。風船といっても子供が持っているような大きなものではなく、直径約2.5mm～3.0mm、長さ約20～25mm程度のものです。使用する道具の改善により最近の成功率は非常に向上しました。利点は、次に述べるバイパス手術とは異なり胸を手術で開く必要がないことです。欠点は、冠状動

脈が再度、細くなることがあります。通常、風船療法を施した患者さんの約3割の人に、3ヶ月後から発生します(再狭窄といいます)。この欠点を補う目的で最近では、ステント療法というものも可能になりました。これは冠状動脈が再狭窄しないように、金属性のバネ(ステント)を病変部に置いてくる方法です。これにより再狭窄は減少しました。風船療法、ステント療法はいずれも、実施可能な患者さんと不可能な場合があります。詳細は非常に専門的な話しになりますので、ここでは省略します。風船療法、ステント療法が不可能な場合にバイパス手術になることもあります。最近では胸を小さく広げる MIDCAB という方法もありますが、原則として胸を大きく広げる大規模な手術となります。風船療法、ステント療法、バイパス手術はいずれも、大規模な設備と高度な医療知識と経験を持った多数の医師を必要とします。また、以上のような治療法を施しても、生活習慣が不良であれば再発しますので要注意です。予防としては、糖尿病、高脂血症、高血圧、高尿酸血症、肥満などの動脈硬化を引き起こす病気の予防となります。これらは、いずれも食生活の改善、適度な運動と体重減量で程度が軽くなるものも多く留意が必要です。特に、糖尿病は腎臓病の併発や動脈硬化の進展が早く、治療に難渋することが多く虚血性心臓病の予防の点からも重大な病気となります。以上、4回にわたり虚血性心臓病に関して簡単に概説しました。



テレホン情報の 内容が充実しました

自宅の電話やFAXを利用して、24時間いつでも必要な時に情報サービスが受けられる地域交流ダイヤル「ハローダイヤルみまた」の情報内容をこのほど更新いたしました。また、収集所に出せるごみやリサイクルできるごみについてのお知らせ、乳幼児の保健等の情報を追加しましたので、どうぞご利用ください。(右に記載)

なお、情報の追加や内容の更新については、来月の広報紙から毎月お知らせいたしますのでご活用ください。



身近な情報発信として 利用しませんか。

「ハローダイヤルみまた」は、地域や学校・サークルなどのコミュニティの情報手段として、利用できます。

現在、利用を希望する団体(個人は不可)の登録を受け付けていますので、お気軽にお越しください。

【活用例】

- ・PTAの会員に対しての行事連絡としての使用
- ・スポーツ少年団の団員募集のお知らせ

(注) 申請された団体については、当方で使用するのに適切な団体かどうかの審査を行ない、場合によってはお断りすることもあります。

◎受け付け

月曜～金曜日
(午前8時30分～正午、午後1時～午後5時)
※土・日・祝祭日を除く

◎募集团体の資格

- ・公共性のある民主団体であること
- ・利益追求を目的とした団体でないこと

◎使用料 無 料

※ハローダイヤルみまたに関する問い合わせやサービスコード表をお持ちでない方は、下記のところにご連絡ください。

役場企画調整課

☎52-1111(内線248・249)

ハローダイヤルみまたのご利用は

FAX・電話共通(代) **27-7100** にダイヤル後は、音声にしたがって操作してください。

《FAX情報》

【更新コード】

[コード番号] [項 目]

◎町の紹介

1201 町長からのメッセージ

◎住民登録

1311 転入届
1312 転出届
1313 住民票の写しの請求
1314 転出証明の郵便請求

◎戸籍

1321 出生届
1322 婚姻届
1323 離婚届
1324 戸籍謄抄本の請求
1325 郵便による戸籍などの請求

◎印鑑登録

1331 印鑑登録をするとき
1332 印鑑登録証明書の請求

◎外国人登録

1341 外国人登録
1342 外国人の居住地変更登録
1343 外国人登録済証明書の請求

◎ごみ・し尿処理

1511 家庭ごみの出し方
1512 ごみ袋の指定
1513 多量のごみが出たら

◎予防接種

1611 ツベルクリン反応・BCG接種
1612 ポリオ
1613 その他の予防接種

◎健康診査

1621 成人病・結核検診
1622 がん検診
1623 骨粗鬆症検診

◎健康教室

1631 リハビリ教室
1632 糖尿病教室
1633 健康相談・食生活改善教室
1634 エクササイズクラブ

◎乳幼児の保健

1651 母子健康手帳交付
1652 乳児健診
1653 育児教室
1654 1歳6ヵ月児健診
1655 2歳6ヵ月児健診
1656 3歳児健診

◎保健事業

1671 成人保健総合案内
1672 母子保健総合案内

◎国民健康保険

1401 国民健康保険のしくみ
1402 国民健康保険の加入
1403 国民健康保険の資格喪失
1404 遠隔地保険証の交付
1405 保険証の紛失・破損(再交付)
1406 国民健康保険が使えないとき
1407 交通事故で病院にかかるとき
1408 療養の給付
1409 入院時食事療養費の減額
1410 高額療養費の支給
1411 療養費の支給
1412 出産育児一時金の支給
1413 葬祭費の支給
1414 国民健康保険の保健事業
はり・きゅう施術利用助成
1415 保養所(温泉)利用助成
1416 退職者医療制度

◎国民年金

1441 20歳になったら
1442 学生も全員加入
1443 高齢者などの任意加入

1444 結婚したとき
1445 会社など退職したとき
1446 厚生年金などに加入したとき
1447 被扶養者になったら
1448 扶養配偶者から外れたとき
1449 国民年金の受給手続き
1450 障害基礎年金
1451 年金受給者が死亡したとき
1452 年金を受給せず死亡したとき
1453 外国に住むことになったら

◎老人医療

1471 老人医療の対象になるには
1472 保険証の記号番号が変更
1473 老人医療の受け方
1474 入院医療費減額・薬剤費免除認定
1475 障害認定
1476 一部負担金について
1477 標準負担額減額認定
1478 病院のデイケアについて

【追加コード】

◎ごみ・し尿処理

1514 収集所に出せるごみ
1515 収集所に出せないごみ
1516 リサイクルできるごみ

◎乳幼児の保健

1657 母親学級
1658 両親学級

◎保健事業

1673 年間行事予定



《音声情報》

【更新コード】

[コード番号] [項 目]

◎町の紹介

1201 町長からのメッセージ

【追加コード】

◎ごみ・し尿処理

1514 収集所に出せるごみ
1515 収集所に出せないごみ
1516 リサイクルできるごみ

◎乳幼児の保健

1657 母親学級
1658 両親学級

Mimata Town Information

おしらせ



成人式

平成11年の成人式を下記のとおり開催します

○日時 平成11年1月5日(火)

受付 午前9時15分

開式 午前10時

○会場 町体育館

※新成人者の皆様には、成人式の案内をはがきで通知していますが、届いていない方は、下記のとことまでご連絡ください。

○問い合わせ

教育委員会生涯学習課

☎52-1111 内353

募集

平成10年度宮崎県東京学生寮入寮生の募集

○対象

東京都およびその周辺に所在する大学・短期大学及び修業年限2年以上の専修学校専門課程に入学見込みの男子学生で、保護者が県内に住居を有する者。

○募集人員

50名程度(1部屋2名定員)

○入寮期間

平成11年4月1日～

平成13年3月31日

○寮費

月額 18,500円

(食費、電気料金別途)

○募集期間

平成10年12月18日(金)まで(必着)

○問い合わせ

宮崎県総務部管財課

〒880-0805 宮崎市橋通東2-10-1

☎0985-26-7018

「危険物安全週間推進標語」の募集
毎年6月の第2週は「危険物安全週間」とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取り扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

○応募方法

・官製はがき1枚につき標語1点

とする

・郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号を明記

・未発表のものに限る

○締め切り

12月24日(木)必着

○賞

・最優秀作 1点(消防庁長官賞と副賞20万円)

・優秀作 1点(危険物安全協会理事長賞と副賞10万円)

・優良作 10点(1万円相当の記念品)

※入選作品の著作権は主催者に帰属するものとする

○あて先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号 日本消防会館5階

(財)全国危険物安全協会内

危険物安全週間推進協議会

☎03-3597-8393

○問い合わせ

都城地区消防本部予防課

☎22-8884

健康教室

12月の健康教室を次のとおり開催いたします。多数ご参加くださるようお願いいたします。

■日時 12月21日(月)

午後1時30分から2時間程度

■場所 第5地区公民館

■内容

・テーマ「高血圧症とその合併症」について

(予防と治療、薬の服用、食事療法など)

・講師「医師、薬剤師、栄養士」

■問い合わせ

町立病院(☎52-1155)

その他

国保及び国民年金支払い証明書の送付について

今まで、国民健康保険税及び国民年金保険料の支払い(納付)証明書は、税務課収納係(6番窓口)、町

民生活課国民年金係(3番窓口)のそれぞれの窓口で交付していましたが、平成10年分から被保険者宅へ毎年1月中旬までに郵送することになりました。

ただし、12月中に証明書が必要な方は、今までどおり、役場窓口で交付を受けてください。

○問い合わせ

☎52-1111

税務課収納係(内線146)

町民生活課国民年金係(内線113)

1月10日は、「110番の日」です。

～事件事故 強い味方の110番～

次のことに気をつけてください。

○110番は緊急の場合に使い、急がない場合は直接最寄りの警察署に電話してください。

○110番をかける時は、落ち着いて正確に話しましょう。

○いたずらは絶対やめましょう。

○携帯電話の場合は、感度のよい場所から立ち止まって電話してください。

催し

きりしまんぢだ

(1市6町の行事紹介)

●都城市

○市場初せり

■日時 1月5日(火)午前7時～

■会場 公設地方卸売市場

■問い合わせ 公設地方卸売市場

☎25-5242

○第12回南のうたとおどり

■日時 1月17日(日)午後1時開演

■会場 市民会館

■問い合わせ 市文化課

☎23-9547

●山之口町

○新春初詣マラソン

■日時 1月2日(土)午前9時30分

■会場 安楽寺

■問い合わせ 役場社会教育課

☎57-3111

●高崎町

○ゆく年くる年

年越し星見会

■日時 12月31日(木)午後6時頃

■会場 たちばな天文台

■問い合わせ たちばな天文台

☎62-4936

●末吉町

○奇習「鬼追い」

■日時 1月7日(木)午後7時頃

■会場 熊野神社(末吉町深川)

■問い合わせ 保存会長 迫杉雄

☎76-0182

愛の献血

8月～11月の献血協力

大悟病院 64名

都城洋香看護専門学校 44名

都城東高校 326名

三股町役場(来庁者含む) 69名

ご協力ありがとうございました。

愛のご寄付

町社会福祉協議会では、忘明寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

平成10年10月1日から

平成10年10月31日まで

寄付者 続柄 故人名 年齢 地区 金額

上池 まゆみ(父) 新藤正明 66 餅原 10万円

綿屋 咲子(夫) 明治 57 東植木 2万円

政野 郁夫(妻) 安子 44 中米 7万円

松田 武(妻) 都喜子 70 三原 1万円

蓬原 正美(母) 菊江 83 東原 1万円

片之坂 秀俊(義母) 奥原 90 三原 3万円
指宿 秀雄(妻) エミ 80 下新 3万円
宮本 清(妻) ミヤヲ 81 東原 5万円
上徳 トキミ(夫) 重則 83 東植木 5万円
原田 マツ子(夫) 益男 71 上米 3万円

一般寄付

山之内 節子(梶山) 10万円

40周年記念チャリティー公演収益金

山口電療院

温熱治療器 1台 (65万円相当)

アップダウンベッド 1台

(20万円相当)

年末・年始のごみ収集

○年末のごみ収集

・燃やせないごみ

12月28日(月)午前8時までに各ごみ収集所に出してください。

・燃やせるごみ

12月30日(水)午前8時までに各ごみ収集所に出してください。

○年末の個人搬入

・燃やせないごみ

12月30日(水)午後4時までに一般破棄物埋立処分場(クリーンヒルみまた)に持ち込んでください。

・燃やせるごみ

12月30日(水)午後4時30分までに都城市郡元町の清掃工場に持ち込んでください。

ただし、粗大ごみについては、12月19日(土)までに持ち込んでください。

なお、12月20日(日)からは粗大ごみの搬入は禁止されます。

○年始のごみ収集

平成11年1月4日(月)、燃やせないごみから平常通り収集します。

○年始の個人搬入

一般破棄物埋立処分場(クリーンヒルみまた)、郡元町の清掃工場ともに、1月4日(月)から平常通り作業を始めます。

※年末年始は、ごみの量が多くなるため、収集車を増やしてごみの回収に当たりますので、収集時間が異なります。ごみを出される方は、午前8時までに各収集所に出してください。

○問い合わせ

役場町民生活課環境保全係

☎52-1111 内112

清掃工場

☎23-0277

年末年始のし尿収集

○電話受付 12月25日(金)まで

○最終収集日 12月30日(水)まで

○仕事始め 1月4日(月)から

○電話予約 都北清掃公社

本社 ☎38-0234

営業所 ☎52-5636

※浄化槽・便槽等の清掃および汲

み取りについては、年内に対応

できない場合がありますので、

早めに予約してください。

急病診療機関

年末年始における急病診療機関については、下記のところに問い合わせてください。

○診療時間：午前9時～午後6時

☎23-5555

○夜間救急：午後7時～翌朝7時

都城救急医療センター

(外・内・小児)

☎39-1100

○歯科急患：午前9時～午後5時

☎25-4100